

## 平成 29 年第 5 回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 平成 29 年 5 月 29 日 (月) 14 時 00 分
- 2 閉会日時 同 日 15 時 30 分
- 3 開催場所 加西市役所 1 階多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 高 橋 晴 彦  
委 員 渡 邊 隆 信  
委 員 内 藤 堯 雄  
委 員 多 田 久 子  
委 員 沼 澤 郁 美
- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名  
教育部長 達 可 忠 久  
次長 (子育て未来政策担当) 中 倉 建 男  
次長兼教育総務課長 内 藤 利 樹  
参事兼学校教育課長 本 玉 義 人  
こども未来課長 伊 藤 勝  
生涯学習課長 森 幸 三  
図書館長 高 井 聡 子  
総合教育センター所長 植 田 正 吾  
生涯学習課主幹 永 井 信 弘  
教育総務課長補佐兼総務係長 民 輪 寛 美
- 6 付議事項  
議案第 18 号 加西市指定有形文化財の指定について  
議案第 19 号 加西市青少年補導委員の委嘱について  
議案第 20 号 加西市学校評議員の委嘱について  
議案第 21 号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について  
議案第 22 号 加西市教育支援委員会委員の委嘱について  
議案第 23 号 加西市幼稚園等評議員の委嘱について  
議案第 24 号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について  
議案第 25 号 加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

議案第18号 加西市指定有形文化財の指定について

生涯学習課主幹より説明を行う。文化財保護に関する条例第3条第1項の規定により諮問を行った文化財については、加西市文化財審議委員会からの答申に基づき市指定文化財に指定変更したいので、委員会の議決を求めるものである。指定変更する文化財については、変更後の名称は羅漢寺石仏群（五百羅漢）、種別は考古資料、員数は433体である。理由は、本文化財の価値を評価するうえで、羅漢石仏だけでなく、本尊仏群を含む境内石仏群を一つのまとまりとして位置付け、指定範囲を羅漢寺境内の近世石仏群全体に広げること、実態に即した指定名称の変更、近年の調査成果にともなう種別の変更が妥当であることによる。

議案第19号 加西市青少年補導委員の委嘱について

総合教育センター所長より説明を行う。加西市立総合教育センター条例施行規則第4条の規定に基づき、加西市青少年補導委員を委嘱する。今回の議案は、前回承認いただいた町代表の138名に加え、市内県立高等学校の生徒指導担当教員4名と、各種団体から推薦された女性協力員10名に対して委嘱する。任期は、平成29年4月1日から平成31年3月31日までの2年間である。

教育委員より、4月1日から委嘱している補導委員であるのに、なぜ今回の提出になったのかとの質問がある。

総合教育センター所長より、前回の教育委員会にて、市内補導委員152名全員を推薦したかったが、一部の団体からの推薦名簿提出が遅れ、2回に渡っての審議となった。本来であれば、4月の定例教育委員会にて審議いただく案件であると回答する。

議案第20号 加西市学校評議員の委嘱について

参事兼学校教育課長より説明を行う。加西市学校評議員置要綱第5条の規定に基づき、各校5名から8名を委嘱する。学校評議員は、教育に関する理解及び識見を有する者、あるいは学校が地域社会との連携支援を深めるための組織の代表者等で構成され、校長の推薦を受けて教育委員会が委嘱する。任期は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間である。

教育委員より、評議員について、個人よりも団体の役員の方が多くされているようだが、課題や問題点はあるかとの質問がある。

学校教育課長より、地域社会との連携を深めるために、区長会、婦人会などの団体の長の方に引き受けていただいているのが現状である。評議員にふさわしい方になっていただいていると考えていると回答する。

教育委員より、代表区長の方にも評議員を引き受けていただいているが、代表区長は複数の他の役員もされているので本当にご苦勞様だと思う。他のところでも、あて職にならないよう、職業的に多様性などがあってもよいのではないかと参考にしていただきたいとの意見がある。

学校教育課長より、校長会を通して各学校に意見を伝え、人選についても考えていきたいと回答する。

#### 議案第21号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について

参事兼学校教育課長より説明を行う。加西市立学校の児童生徒の結核対策委員会要綱第3条の規定に基づき、医師会から2名、行政関係者2名、学校関係者から4名の合計8名の委員を委嘱する。任期は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間である。本委員会は、加西市の児童生徒の結核感染防止、感染者及び発病者の早期発見・早期治療、患者発生時の対応、学校保健と地域保健の連携強化を目的として設置するものである。

#### 議案第22号 加西市教育支援委員会委員の委嘱について

参事兼学校教育課長より説明を行う。加西市教育支援委員会規則第2条の規定に基づき、1号委員（医師）として2名、2号委員（関係教育機関の職員）として8名、3号委員（関係行政機関の職員）として地域福祉課長、4号委員（教育委員会の職員）としてこども未来課長と学校教育課長の合計13名を委嘱する。任期は、平成29年6月1日から平成30年3月31日まで

ある。本委員会は、加西市内の幼児児童及び生徒の適切な就学を図ることを目的に設置するものである。

#### 議案第23号 加西市幼稚園等評議員の委嘱について

こども未来課長より説明を行う。加西市幼稚園等評議員設置要綱第4条の規定に基づき、各園から3名を委嘱するものである。任期については、平成29年4月1日より平成30年3月31日までの1年間である。

教育委員より、要綱では、評議員は何人かと質問がある。

こども未来課長より、4人以下であると回答する。

教育委員より、評議員について、園を外部からどういう視点でみていただくか明確にし、人選の多様性を求めることが大事であるとの意見がある。

#### 議案第24号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

次長兼教育総務課長より説明を行う。加西市学校給食センターの設置及び運営に関する条例第5条の規定に基づき、4号委員として、下里・九会・北条東小学校、加西中学校PTA会長の4名を委嘱するものである。任期は、平成29年5月1日から平成30年4月30日までの1年間である。

#### 議案第25号 加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について

次長兼教育総務課長より説明を行う。加西市教育委員会評価委員会設置要綱第3条の規定に基づき、教育に識見を有する者として2名を委嘱するものである。任期は、平成29年6月1日から平成31年5月31日までの2年間である。

## 9 議決事項

#### 議案第18号 加西市指定有形文化財の指定について

原案通り可決

議案第19号 加西市青少年補導委員の委嘱について

原案通り可決

議案第20号 加西市学校評議員の委嘱について

原案通り可決

議案第21号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について

原案通り可決

議案第22号 加西市教育支援委員会委員の委嘱について

原案通り可決

議案第23号 加西市幼稚園等評議員の委嘱について

原案通り可決

議案第24号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

原案通り可決

議案第25号 加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について

原案通り可決

## 10 報告事項

### 教育長

この1月間の主な事項等について報告する。

#### (1) 4月21日 加西市代表区長会

教育の重点、学校関係の入学者数等について報告した。学校において少人数を危ぶむ意見も寄せられ、望ましいあり方を現場サイドからも検討していきたいと回答した。

#### (2) 総会等で、出席した行事のみ報告する。

4月26日 社会教育推進委員研修会、4月27日 公私立施設長会、4月28日 連合PTA総会、4月29日 市制50周年記念式典、5月1日 校長会、5月8日～12日 かしの木学園開講式、5月13日 青少年補導委員連絡協議会総会、5月19日 北播磨補導委員連絡協議会総会理事会、5月21日 北条西こども園竣工式、5月22日 全県教育委員連合会総会研修会、5月26日 播磨東地区学校給食研究協議会、加西教育の会総会、5月27日 加西病院の看護の日、教育に対する支援依頼等行った。

#### (3) 4月26日、5月24日 道徳の教科書採択に係る教育長会、北播磨採択地区協議会

規約等の承認、日程協議、調査員の割り当て、予算等について協議し、第1回の協議会では、日程の確認、調査員の選出等を行った。各市町より選出された調査員による3回の調査員会を経て、7月に採択協議会を開催し、決定後、7月の定例教育委員会で採択議決となる。

#### (4) 5月8日 文化財審議委員会

五百羅漢指定の種目変更、酒見寺の総合的な指定、網引湿原の指定について審議いただき、五百羅漢以外は継続審議となった。

#### (5) 5月10日 総務委員会

学童保育の定員と申し込み状況、いじめ不登校の状況、泉地区の就学前施設整備基本計画地域協議会の状況、就学前施設の利用状況について審議いただいた。学童保育については、受け入れ態勢の充実を図るよう、いじめ不登校については、サポートチームについて報告し努力するよう、泉地区については、よく協議し理解を得るようとの意見をいただいた。

#### (6) 5月24日 兵庫県都市教育長会議（相生市）

学校と警察との相互連携、スクールロイヤーの活用、学校における医療的ケアの実施、スクールソーシャルワーカーの派遣の4議案について意見交換をした。

(7) 5月25日 計画訪問

例年行っていた格差是正の要望確認については、予算時期に合わせて行うこととさせていただきます。

(8) 5月27日 プルマン訪問団の報告会

各中学校から参加の8名について、有意義な訪問であったとの報告を受けた。

**次長兼教育総務課長**

教育施設整備事業等進捗状況について報告する。加西こども園建設工事は、外構工事が99%、周辺道路整備工事は、土工が45%の進捗状況である。加西中学校プール改築工事は、実施設計60%の進捗状況である。

続いて、平成28年度加西市教育委員会点検評価について、点検評価総括表にて難易度・達成度とその結果を報告する。「新しい時代を切り拓くところ豊かで自立した人づくり」を基本理念に、3つの重点目標をもとにして、13の実践目標、21の取組を行った。前年度からの変更点として、教育の重点に基づく「実践目標」に対する『取組』を数値にしやすい取組とし、指標名、数値等を記入する様式に変更する。

**参事兼学校教育課長**

トライやる・ウィークについて報告する。中学2年生を対象に、6月5日から9日までの5日間実施する。今年度は、延べ135の事業所に（昨年度は148）協力いただくこととなっており、各中学校からは、生徒のニーズにあった事業所の配置ができているという報告を受けている。新規事業所として、4つの事業所（農事組合法人あびき、加西自動車学院、元源、ローソン加西満久店）を開拓している。

教育委員より、事業所より苦情や注意はあるのかとの質問がある。

学校教育課長より、中学生の礼儀等についての注意はあるように思う。市のトライやる・ウィーク協議会において、事業所の代表の方にもきていただき、意見を聞いていると回答する。

続いて、中高コラボレーション事業について報告する。北条高校が実施しているオーストラリアのスワン・クリスチャン・カレッジとの交流に中学生も参加するという企画で、今年度で2回目である。国際化に対応した人材育成の一環として実施する。日程は、8月8日から22日までの15日間である。募集は、4中学校で各校2名の8名を予定している。

今回は、オーストラリアからもホームステイにくる予定であるため、ホームステイの受け入れができる生徒を優先する。決定後、中高合同のオリエンテーション、研修会を開催する。

続いて、学校づくり応援事業について報告する。小学校1校あたり30万円、中学校・特別支援学校40万円の予算で事業を行う。この事業は、各校が、児童生徒や地域の実態等を十分踏まえ、より魅力ある学校づくりをめざして特色ある取組を展開することで、児童生徒の「生きる力」を育てるとともに、地域に信頼される学校づくりを推進するために実施する。今年度の各校のテーマから、特色として、地域との協働、家庭との連携、そして、学習指導要領が告示されたことにもよるが、アクティブラーニング型、主体的、対話的、協働的などの文言が増えている。地域の人々や保護者、専門的な知識・技能を持つ人々を支援者として招くなど、学校外の人材の活用や関係機関との連携を図りながら魅力ある特色ある学校づくりに努めている。

#### こども未来課長

泉地区就学前施設整備基本計画案について報告する。答申を受けて、当初の計画を変更している。立地場所について、泉幼稚園の敷地に限定せず、泉中学校区における中間地点に候補地を選定する。そのため、1年遅れの平成32年開園を目指す計画である。統合のねらいとして、認定こども園の推進、職員の集約化による低年齢児の受入確保、幼児期にかかる保育・教育の質の確保と向上、特別支援教育の充実、保育料の負担軽減をあげている。変更案について、5月から小学校区ごとに、保護者の方と協議を進め、説明をしているところである。

教育委員より、保育料の負担軽減について検討の見込みはあるのかと質問がある。

こども未来課長より、財源の問題もあるが、統合することにより、さらに実施できるようにしたいと回答する。

教育委員より、(仮称)泉こども園のクラス配置案について、3～5歳児の職員の配置が手厚くなっている。現在、先生方の研修ができない状態であることを聞いている。配置が手厚くなれば、先生方の心の余裕もでき、研修にも参加しやすくなり、保育・教育の質の向上につながる。ぜひ手厚く配置をお願いしたいと要望がある。

こども未来課長より、特別支援の先生、担任補助の先生も増やす予定であるので、休暇の取



得や研修等にも参加しやすくなると回答する。

教育委員より、先生の最低配置基準(人数)について、質問がある。

こども未来課長より、配置案に示している人数が最低基準である。上回る場合は、問題ないと回答する。

教育委員より、(仮称) 泉こども園のクラス配置について、園児数が2クラスで各30人の設定だが、この2クラスに固定することなく柔軟に教室・部屋を活用してはどうかとの提案がある。

こども未来課長より、子どもの数に合わせて部屋割りを増やすことも検討すると回答する。

教育委員より、泉地区統合については、保護者の方に丁寧に説明、議論をするよう要望がある。

#### 総合教育センター所長

平成29年度総合教育センター研修講座について報告する。昨年度末に実施した「センター研修講座に係る教職員アンケート」の結果を活かし、今年度は悉皆研修を減らし、教職員が希望する講師・内容等の希望研修を増やした32コース・38講座を計画している。なお、研修受講対象枠については、定例教育委員会等にて各教育委員の皆様からご意見を寄せられた、公立だけでなく私立を含めた、幼保園教諭・保育士等も参加できるように配慮した。また、特別研修講座枠を拡充し、新学習指導要領実施に伴う、小学校外国語活動・道徳の教科化等に対応した講座、今年度から本格実施となったスクールソーシャルワーカー派遣に伴う説明講座等を計画・一部実施した。今後は、喫緊の教育課題解決に向けた講座や校内研修と共同企画した講座、センター指導主事による出前講座等も計画している。

教育委員より、先日、近隣町に於いて、いじめによる自死を疑わせる新聞報道があったが、市内各校はどのように受け止めているかとの質問がある。

総合教育センター所長より、新聞報道があった日に、数校に対して状況調査をしたところ、新聞報道を印刷して、全教職員に配付し、朝の職員会議等で話し合う等の対応をしていた。決して対岸の火事として捉えることなく、自校での取組を振り返る機会にしていた。またセンターとしては、いじめに関する児童生徒向けアンケートに加え、教員用の振り返りシートを作成し、情報提供している。教職員自らの、いじめの未然防止や日頃の児童生徒に対する接し方の

振り返りの機会になる事を期待していると回答する。

教育委員より、今後も委員会と学校が協力して取り組む必要があると意見がある。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

なし

1 3 今後の予定について

- ・第6回定例教育委員会 6月21日(水) 14:30～5F会議室(大)
- ・第7回定例教育委員会 7月26日(水) 14:00～5F会議室(大)
- ・第8回定例教育委員会 8月25日(金) 14:00～5F会議室(大)

1 4 その他

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

平成 29 年 5 月 29 日

出席者

(出席者署名)